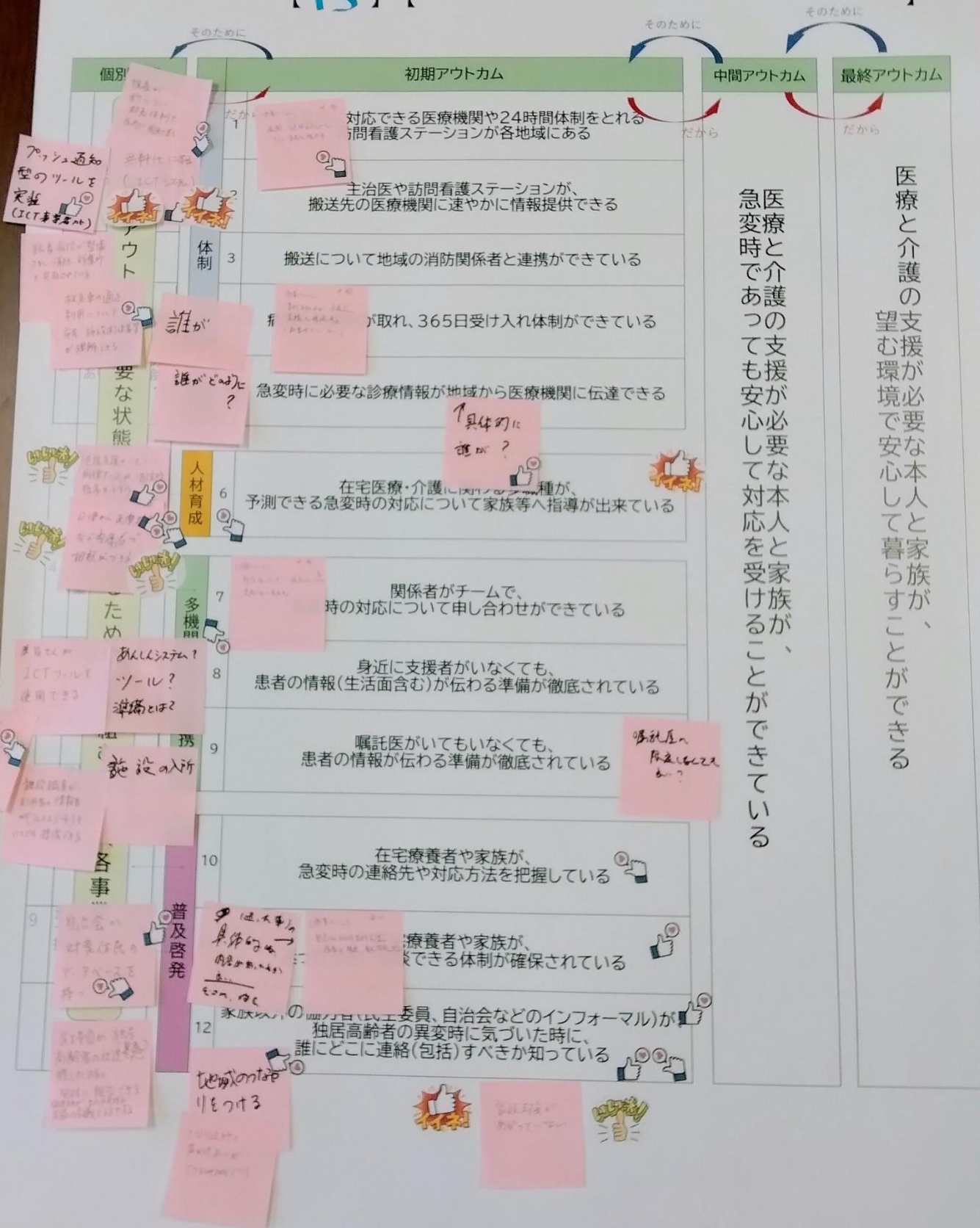


メンバー

5



【急変時の対応】

グループ

メンバー

【14】

】

そのために

そのために

そのために

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

初期アウト

体制と

普及啓発

体制

人材育成

普及啓発

1 急変時に対応できる医療機関や24時間体制をとれる訪問看護ステーションが各地域にある

2 主治医や訪問看護ステーションが、搬送先の医療機関に速やかに情報提供できる

3 消防機関について地域の消防関係者と連携ができている

4 消防機関の調整が取れ、365日受け入れ体制ができている

5 急変時に必要な診療情報が地域から医療機関に伝達できる

6 在宅医療・介護に関わる多職種が、予測できる急変時の対応について家族等へ指導が出来る

7 関係者がチームで、急変時の対応について申し合わせができている

8 身近に支援者がいなくても、者の情報(生活面含む)が伝わる準備が徹底されている

9 嘱託医がいてもいなくても、患者の情報が伝わる準備が徹底されている

10 在宅療養者や家族が、急変時の連絡先や対応方法を把握している

11 在宅療養者や家族が、迷ったときに相談できる体制が確保されている

12 家族以外の協力者(民生委員、自治会などのインフォーマル)が、独居高齢者の異変時に気づいた時に、誰にどこに連絡(包括)すべきか知っている

医療と介護の支援が必要で、急変時でも安心して対応を受けることができる

医療と介護の支援が必要で、急変時でも安心して暮らすことができる

行政が民生委員、自治会、人権教育

【日常の療養支援】

グループ

メンバー

【 15 】

個別施策	初期アウトカム	中間アウトカム	最終アウトカム
1	民や医療・介護専門職が、地域の資源情報を入手しやすくなる		
2			
3			
4	介護関係者が、相談できる体制がある		
5	訪問看護の体制が整備されている		
6	(訪問看護ステーションのアクセスメント力、対応力が向上し、不要な入院を避けることができる)		
7	4 疾病の特徴に応じた在宅医療の体制が整備されている		
8	5 患者情報共有ツールや連携のルールが整備されている		
9	医療・介護専門職が、日常生活療養上に必要な知識修得の機会がある		
10	センター、ステーションが、相談対応や研修企画等の場面で、その役割・能力が発揮されている		
11	医療・介護専門職が、適切な時期に予防的な視点でケアをすることができる		
12	医療・介護専門職が、患者・家族について、日頃から変化する望む生活について確認ができる		
13	10 医療・介護専門職が、地域ケア会議等を通じて互いの専門性と強みを共有し、ケアを提供する際の目標をそろえることができる		
14	11 医療・介護専門職同士が、普段から顔の見える関係性ができている		
15	12 関係者が、退院前カンファレンスやサービス担当者会議で、対象者に適した検討ができている		
16	13 医療・介護専門職が、患者・家族について、平時からSWANネット等のツールを活用しながら情報共有ができている		
17	14 市民が、私事として在宅医療と介護のイメージを持つことができる		
18	15 地域住民同士が、独居高齢者等を日頃から見守り、協力する意識が醸成されている		

安定した日常生活を送る必要が本人と家族ができる

医療と介護の支援が必要で、本人と家族ができる

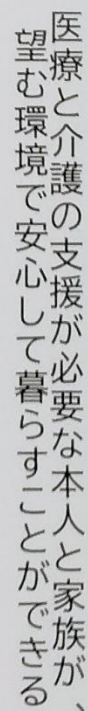
安定的な日常生活を送る必要が本人と家族ができる

医療と介護の支援が必要で、本人と家族ができる

メンバー

【

5

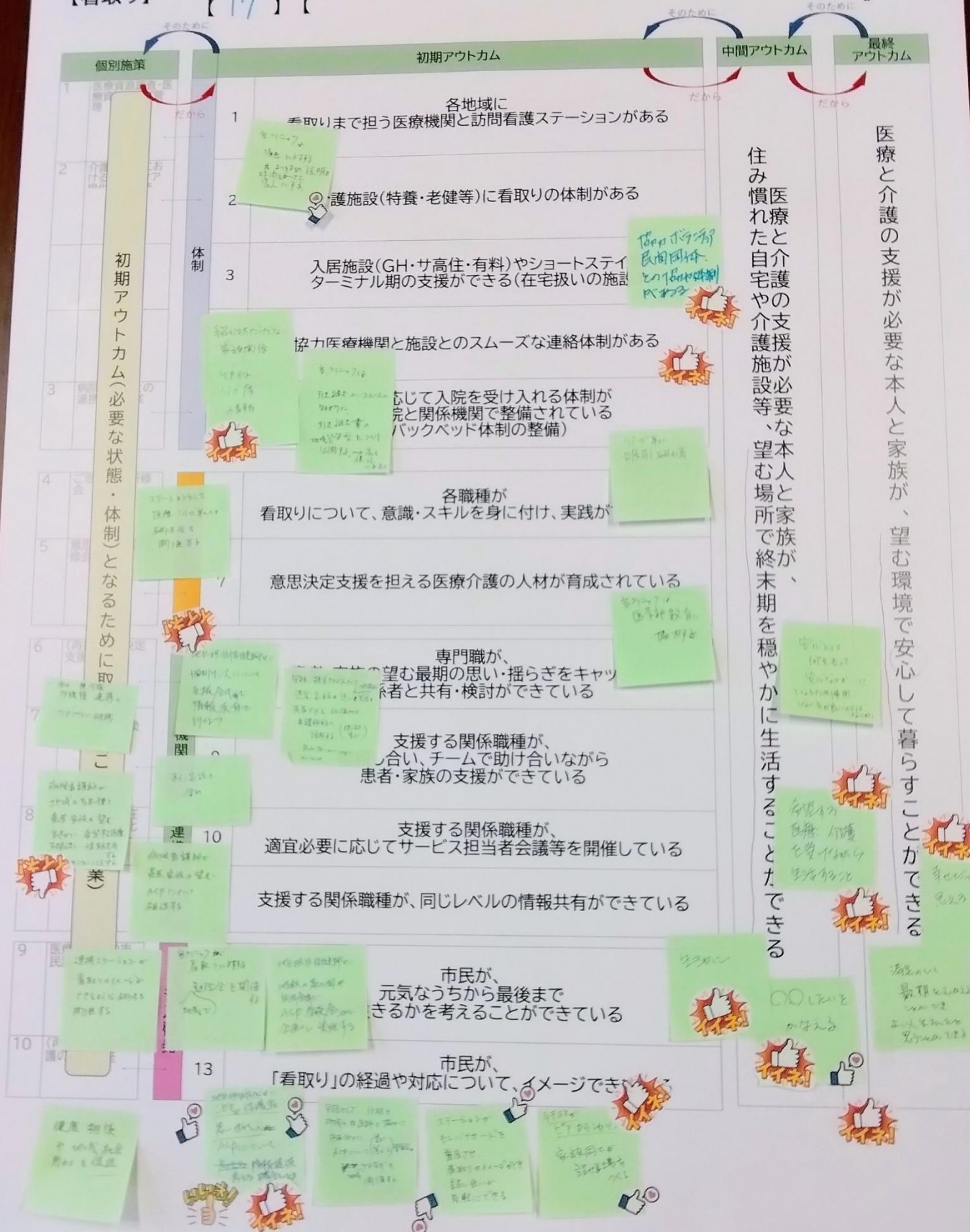


【看取り】

グループ メンバー

【 17 】

】



メンバー

【

